

いくのdeリノベ

ものづくりへの 一途な思いが “形”となった場所

疎開道路から桃谷商店街を折れ、少し入ったところに、白い木枠が印象的なガラス張りのお店がある。扉を開くと、賑やかな商店街から一変、別世界に入り込んだ錯覚に陥る。天井から吊るされたいくつかのペンダントライトが、布の鞆や、ニットの小物、季節を感じさせる雑貨たちを、柔らかく照らしている。

ここは店主である田口さんが5年前に開いた雑貨店。1階のキッチンと2階はリフォームされていたが、店舗部分は何もない空っぽの空間だった。「自由に手をいれていい」と言われたことと、昔ながらの店の中に新しい店もでき始めていたこの商店街に可能性を感じたことからこの場所に決めた。

店の中央に位置する大きな木のテーブル、それを囲む椅子。落ち着いた色の木の床が広がり、白壁の



中、一面だけ深いグリーンを彩る白木の飾り窓。そしてお店の象徴であるガラスの扉。これらは全て田口さんが思い描いていた世界そのもの。ひとつひとつ自分のイメージを形にするように、プロの力を借りてリノベした。照明にもこだわりが。デザインに惚れ込んだものをひとつずつ増やしていったというペンダントライト。あちこちに飾られたプリザーブドフラワーやアーティフィシアルフラワーが、きれいに見えるようにと、あえて光の量を落としている。

幼い頃からものをつくるのが好きだったという田口さん。母が洋裁の先生だったこともあり、小学生になる頃には自分の服を作り始め、当たり前のように洋裁の学校へ進んだ。そんな時、ふとしたきっかけで知った着物の世界は、新鮮で魅力的に感じた。着付けを学び、講師としても6年ほど勤めた。今飾られているカバンやヘアアクセサリーは、様々な柄の着物地が、田口さんの自由な発想で組み合わせられデザインされ、作り上げられたもの。洋風の店内と見事な調和を見せている。他にも、手編みの帽子や皮製のヘアアクセサリー、フラワーアートなど、田口さんが手がけるものは幅広い。



雑貨だけでなく、フラワーアレンジ教室や素材からこだわったランチの提供も始めた。「いつかピアノの演奏会もしたい」とこの場所で咲かせたい夢は続く。田口さんのものづくりに対する真摯で丁寧な姿勢が人を惹きつけている。

★Flowerdesign & handicrafts Beans
生野区桃谷2-22-19 ☎6796-7448

いくのdeリノベの
取材の様子や詳しい情報を
ブログで紹介しています。



素敵な“お隣さん”を紹介してください!

「いくのdeリノベ」では、生野区らしいリノベーション暮らしを紹介します。(他薦のみ)

お隣さんの条件 生野区在住で古い家屋をリノベーションし、自分らしく暮らしている方

応募方法 「問合せ」へ下記事項を連絡ください。

- (電話・FAX・郵送で受付)
- ①あなたのお名前・ご連絡先
- ②紹介したい“お隣さん”のお名前・場所
(可能であれば連絡先)

問合せ ☎企画総務課 ☎6715-9683 FAX6717-1160 〒544-8501 生野区勝山南3-1-19

★空き家の相談はこちら☎6715-9734

IKUNOX グローバル

SAPKOTA NANDALAL さん
(サポクタ ナンダラル)

ネパール出身。シェフとして若くからインドのニューデリーなど海外で経験を積み、2005年来日。大阪の繁華街のレストランで働き、夫婦で2016年に生野で店をオープンして3年目。ネパールで暮らす息子2人とは年に1度会うのが楽しみ。

故郷はどんなまち?

故郷のまちはヒマラヤに近くて、雪山がほんとに大きく見えるんだ。たぶんびっくりするくらい。でも、夏は45度くらいまであがるから暑くて。こどもの頃はヒマラヤからつづく川で、よく泳いだよ。川の水が気持ちよくて。でも危ないから母親から入っちゃダメだってよく怒られたな。あとは山で木登りして、果物をもぎ取っては、友達とよく食べたよ。海外での生活も長くなって来たけど、やっぱり故郷が好きだな。だから店の名前にも、故郷の名前を入れたんだ。初めての自分の店だから、故郷の名前。いいでしょ?

生野に暮してどう?

店でいろんな人に会えるよ。生野の人って、はじめて店に来てくれた人でも、僕の顔を見て、ネパールってどんなところ?とか、ネパールに行ったことあるよって、気軽に話しかけてくれる。そんな距離感がうれしいんだ。年に1度、店を休んでネパールに帰るんだけど、そのあとお店を再開する時は、ご近所からたくさん食べに来てくれる。お店が忙しかったら、お客さんがエプロン付けて手伝ってくれたりもするよ。あとカレーを作るのにたくさんのスパイスが必要だけど、生野のまちで揃うんだ。買い物も全部ご近所。僕にとっては楽しくて便利な所かな。

IKUNOX×グローバルは生野区ブログでも発信しています。

生野区 チームいくみん通信



(ナマステ)
नमस्ते
こんにちは!



BIG ONES ビッグワズ

「水圧転写」で身の回りのものが
お気に入りのデザインに変身!



技術
松井 勝慶さん



ビッグワズが独自に開発した水圧転写システムは、どんな複雑な形状のものにも写真やイラストのデザインをプリントすることができ、日常の様々な物がオリジナリティ溢れるものに生まれ変わる。

水圧転写の仕組みは、デザインが印刷されたフィルムを水面に浮かべ、薬液を吹きかける。均一にかかる水圧の力を利用して、対象物にフィルムのデザインを転写するというもの。

フィルムへの印刷は、インクジェットプリンターでの出力が可能。フィルムも薬液も、台湾で学んだ水圧転写の技術に、元自動車業界の塗装職人の知識を生かし、独自開発したもの。フィルムの成分は洗濯のりとほぼ同じなので、水に溶け、薬液とともに普通に流して捨てることができ環境にも優しい。

人とは違う個性的なもの、オリジナリティを求める人が増えている中、1個から対応できる水圧転写のニーズは個人から大手企業まで確実に増えている。

BIG ONES ビッグワズ 生野区巽南1-8-24 ☎6755-6234

生野ものづくり百景について、詳しくはHPをご覧ください。

ピックアップ
生野
ものづくり百景

